

## 在宅医療における研究の振興に向けてのワークショップ

# 現場でのふとした疑問や課題

## そこが研究の出発点

- 日時：2015年11月1日（日）13:00～15:00  
会場：東京大学本郷キャンパス・医学部教育研究棟2階  
第1・2セミナー室  
対象：在宅医療に関する研究に関心がある方  
※職種は問いません  
定員：先着50名

参加無料

### <プログラム>

13:00～ 今回のワークショップについて 趣旨説明

東京大学医学部在宅医療学拠点  
東芝病院緩和ケア科

山中 崇  
茅根義和

13:15～ 在宅医療の臨床研究に取り組む際の課題

北里大学医学部地域総合医療学  
北里大学医学部地域総合医療学

新森加奈子 先生  
木村 琢磨 先生

13:45～ グループワーク

#### <グループワークのテーマ>

- ① これまで実際に研究を行った経験があるか？  
あれば研究をうまく行うことができたか？
- ② 今までの臨床経験の中で感じたリサーチ・クエスチョン（RQ）
- ③ 本日の講演を聞いて、これから実際に研究をしたらこういう工夫をしたらよいと思ったこと、今後研究を行うにあたってのアイデアがあるか？

14:25～ 全体会とまとめ

※ワークショップは「第17回日本在宅医学会もりおか大会」での内容と同じです  
※グループ発表後、残った時間で興味深いRQについてご自由にお話してください

## 【企画概要】

第17回日本在宅医学会もりおか大会で開催いたしました

「在宅医療における研究の振興に向けてのワークショップ現場でのふとした疑問や課題：そこが研究の出発点」

の第2弾となるワークショップを開催いたします。在宅医療に関する研究に関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております（職種は問いません）。

在宅医療の現場では様々な悩みや素朴な疑問がわいてきます。その内容は、医療施設内とは異なる診断や治療に関すること、倫理的な悩み、介護者のこと、家族関係、多職種との連携、社会的なシステム作りなど、多岐にわたります。

このような疑問や課題に対し、個別の現場で悩み、解決法を探っているのが実情です。在宅医療に関わる人々が共通して感じている「なぜ?」、「どうしたらよいだろう?」に加え、現場での工夫や技を研究に発展させ、形式知化することが、在宅療養者・家族、在宅医療に関わるスタッフ皆の共有財産化につながり、さらにより治療、ケアに結びつくのではないのでしょうか。

本ワークショップでは、まず始めに「具体的な臨床疑問とそれをどう研究に展開するか」について、2人の演者に講演していただきます。その後、小グループディスカッションを通して皆が共通して抱えている課題や新しい研究テーマを見出し、研究に発展させる方策を考えてみたいと思います。

事前の準備や難しい知識は必要ありません。「現場でのふとした疑問や課題：そこが研究の出発点」です。一緒に在宅医療の研究を始めましょう！

本ワークショップでは1グループ6名程度の小グループディスカッションを行います。そのため参加者を50名に限定いたします。参加を希望される方は事前登録をお願いします。

## 【会場案内】

東京大学本郷キャンパス 医学部教育研究棟 2階 第1・2セミナー室

※下記のサイトをご参照ください

- 本郷キャンパス 医学部教育研究棟

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_02\\_09\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html)

- アクセスキャンパスマップ

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01\\_02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html)

## 【お問い合わせ先】

東京大学医学部在宅医療学拠点

Tel & Fax : 03-5800-9542 E-mail: [chcm-info@umin.ac.jp](mailto:chcm-info@umin.ac.jp)